

日本で唯一の IFFFA 開催決定

1 社 10 品受け付け

小野商事を出品窓口にした

「IFFFA (イファ) 加工品品質コンテスト」を開催しているドイツ食肉連盟 (DFV) は、日本では 2 回目となる 2022 年度日本 IFFFA コンテストを開催することを決定した。出品窓口は小野商事 (千葉県市原市、小野進社長) が担当し、同社本社事務局を審査会場に予定している。審査日は 8 月 30 日、9 月 1 日。出品受け付けは 600 品目 (1 社あたり各力テゴリー最大 10 品目) となっている。

130 年以上の歴史を誇る世界最大の食肉機械専門見本市「IFFFA」(3 年に 1 度開催) は、5 月 14、19 日にドイツ・フランクフルトで開催され、ドイツ食肉連盟が主催する「IFFFA 加工品品質コンテスト」が 60 年ほど前から毎回開催されてきた。

これまでドイツで検査が行われていたものが、今年から世界的に評価が高くなり、日本でもこのコンテストが増えている。

これを踏まえ、同連盟は前回に引き続き、同様のコンテストを日本で開催することとした。審査員となるドイツ・マイスターが多数来日し、IFFFA コンテストと同じ審査方法で品質を審査し、メダルの授与などを行う。

米久は 31 日、愛さだんで「甘付」愛顧への「その場である」肉だん、肉だん「肉だん」2 袋付の照を写真でキエブサイトと、その場分かれるインオンキャンベがきを使用している。



日本では 2 回目となる IFFFA 加工品品質コンテストを開催する

発展功労会員を報告

長野県食肉組合連合会 (今井政明理事長) は、同県肉連 (市瀬近治会長) および同生協組合 (山田幸男理事長) の食肉 3 団体を 5 月 18 日、令和 4 年度長野県食肉 3 団体連合発展功労者として報告した。



3 団体を代表してあいさつする市瀬会長

総会の冒頭、3 団体を代表して県肉連の市瀬会長は「コロナ感染症拡大が落ち着かない中、組合全体を強化することが重要となることから、組合員が一丸となって事業を推進していきたい」とあいさつ。

2 トップ留任決める

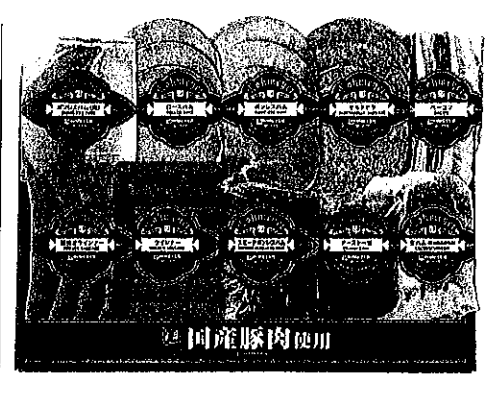
栃木県食肉組合 (加藤 義孝) および同業協同組合 (宇都宮市) のそれぞれ第 65 回通常総会を 31 日、令和 4 年度事業計画、4 年度費



両団体の代表の留任が決定した

「笑顔ひろがる夏の食卓」をテーマに展開

スターゼングループは、5 月 23 日、2022 年中元ギフトのラインアップを発表した。今中元のテーマは「笑顔ひろがる夏の食卓」として、6 月 6 日～8 月 2 日の期間、注目を集めている。



「ローマイヤ」、食肉の「黒豚熟成椎ぎぎロワイ」スターゼンが自信をもっている「シートギフ」トロースハム。さらに、昨年の 100 周年を機に復刻した好評の「ステーキ」を、老舗洋食レストランの味を自宅で楽しめる「銀座口ローマイヤ」も登場している。

「ローマイヤ」や、定番のロースハム、生ハム、ソーセージ、ベーコンなどを話題に合わせた、さまざまな味わいを堪能できる「ステーキ」を、老舗洋食レストランの味を自宅で楽しめる「銀座口ローマイヤ」も登場している。

8 カテゴリー提案

スターゼン中元ギフト

「ローマイヤ」や、定番のロースハム、生ハム、ソーセージ、ベーコンなどを話題に合わせた、さまざまな味わいを堪能できる「ステーキ」を、老舗洋食レストランの味を自宅で楽しめる「銀座口ローマイヤ」も登場している。

「ローマイヤ」や、定番のロースハム、生ハム、ソーセージ、ベーコンなどを話題に合わせた、さまざまな味わいを堪能できる「ステーキ」を、老舗洋食レストランの味を自宅で楽しめる「銀座口ローマイヤ」も登場している。

肉

だんご45周年CP

米久 愛顧への感謝込め

25日〜7月
45年「肉
酢だれ2袋
感謝として
あたりが分か
びキャンペ
している。
「甘酢だれ
入レシート
ンペーンウ
に登録する
抽選結果が
トでの再応募はできな
ン(郵便は
ての応募も



気軽に参加できるキャンペーンを実施

2袋付)は、発売から45年のロングセラー商品。SDGsへの取り組みとして、商品パッケージの形状を巾着タイプから平

労働安全に十分配慮

栃木臓器組合総会開く



「共同購入・販売を積極的に」と加賀田理事長

上程全議案を原案どおり承認した。総会の冒頭、加賀田理事長は「食肉業界は国内のコロナ感染拡大の影響が続く中、組合としては今年度も共同購入ならびに共同販売を積極的に進め、消費者に安全で安心な食肉を提供していく」とあいさつ。

事業報告では、内臓処理状況として畜産公社の豚内臓処理頭数は26万843頭となり昨年より2382頭増加。牛の内臓処理頭数は1万3428頭となり3652頭増加。また、内臓および原皮価格の変動について報告された。

本年度事業計画としては、①栃木県畜産公社で処理された内臓および副産物の共同購入ならびに共同販売の推進、②組合員に必要な共同施設の整備、③その他組合に関係する事業の労働安全に充分配慮し効率的な作業を行うこと、④全議案が承認された。

収支決算案などが報告され、これらの上程議案を原案どおり承認した。

任期満了に伴う役員改選では、生衛組合の加賀田理事長、県肉連の渡邊会長が留任した。また、生衛組合の理事長長寿彰者として20人が選出され、代表して御荒木屋精肉店の齋藤正一氏に表彰状を授与した。

冒頭、渡邊会長が「枝肉価格の高値が続くほか、飼料価格の高騰やコロナなどの問題も継続しており、非常に厳しい状況であるが、組合員の方を借りながら、組合のたのめな事業をこれから進めていきたい」とあいさつ。

来賓として栃木県保健福祉部生活衛生課の八木沢和夫参事兼課長、栃木県農政畜産振興課の杉井孝課長、日本政策金融公庫宇都宮支店の城龍二郎支店長兼国民生活事業統括が代表で祝辞を述べた。

生衛組合の令和4年度事業計画案では、食肉衛生施設の改善や経営の健全化、振興などを通じて衛生水準の維持向上を図り、利用者および消費者の利益の擁護に資し、組合員が相互に協力、扶助しながら組織の維持強化を図るほか、新規に食肉組合ホームページを作成し、認知度向上や組合加入促進を図るなどが了承された。

加賀田敏雄▽副理事長 鈴木宏幸、瀧澤太郎▽専務理事 齋藤正一▽常務理事 関口謙洋、鹿野克己▽理事 渡邊貴志、朝倉通夫、大浦晃二▽監事 渡辺元子。

【県肉連】 会長 渡邊秀夫▽副会長 西谷真幸、瀧澤太郎▽専務理事 齋藤正一▽常務理事 鈴木宏幸、関口謙洋、網川雅之、小泉茂夫▽理事 渡邊貴志、吉澤清治、大浦晃二▽監事 渡辺元子。

は同協議会の相談役でもある中山義隆石垣市長が「石垣では、バイナッブルやまぐろなど季節によってさまざまな農水産物があるが、年間通して供給できるのが『石垣牛』」

「現在、島内での畜場のHACCP認証や空港から海外向けの動物検疫など、海外出荷の体制は整っている。しかし、国内流通はまだまだの状態。おいしさはもちろん、安全・安心な食品の供給体制を整えながら、行政としてもバックアップしていきたい」として、島内では多くの観光客に食べていただいているが、島外への出荷については生産量が伴わず、出荷体制ができていないと述べた。

「10年ほど前に飼料を統一する以前は、出荷牛は3等級がほとんどであり、上物率は40%にも満たなかった。現在は飼料を統一した効果が出ており、上物率は95%にのぼる。肉質の改良も進んできた。ただ、等級だけにこだわらず、おいしさを追求しながら、皆さまのニーズにこたえられるように努力していきたい」と述べた。

総会終了後には経済評論家の上念司氏による「石垣牛と地域経済」と題した記念講演が行われた。

おいしさ認知に注力

石垣牛流通協総会

日本最南端の銘柄牛「石垣牛」の振興と向上を図り、ブランド保持、高揚および全国への消費拡大促進を目的に昨年設立された、石垣牛流通協総会(植村光一 理事長)は5月20日、22年度総会を例二イチク(東京都江東区)で開催。21年度事業報告、22年度事業計画など上程全議案を承認した。

役員改選では植村会長を再任。同協議会の運営は6業種代表の理事会(流通事業者)によって行われており、会員は百貨店、専門店、高級量販店、通信販売事業者、ホテル・旅館業、外食事業者、食肉卸売業、食肉処理業者、顧問・アドバイザーの各代表者で構成

「さらに生活者がフードチェーンに参加していることを認識してもらい、生産者の思いも含めて流通事業者が本来に必要としている販売者へ供給し、販売者は部位の特性などをしっかり理解して生活者に伝える」「生活者はよい食材を見極め、それに対する感謝の気持ちで対価を払

神戸ビーフヒレ特化

竹園 各種イベントを実施

全国でも珍しい食肉専門店が経営する「お肉がおいしいホテル」として名高い「ホテル竹園」(兵庫県芦屋市)などを運営する竹園(福本吉宗社長)は「フィレに特化した超特価『神戸牛フィレット』を、神戸牛フィレット「祭」と銘打ち、「神戸ビーフ」のヒレ20頭分を活用した各種イベントを実施すると発表した。

竹園は2022年、ホテル内の「レストランあしや竹園」および百貨店「阪急うめだ本店」(大阪市北区)内に入居する食肉専門店「あしや竹園うめだ阪急」が10周年を迎え、ホテル内の「マグネットカフェ竹園」が5周年を迎

えることから、顧客の日ごろの愛顧にこたえるべく、地場の最高級牛肉である神戸ビーフの中でも、最も高価な部位であるヒレに特化したイベントを実施するもの。

「神戸牛フィレットを買い！」の概要は、マグネットカフェ竹園で「神戸牛フィレ炭火焼きひとくちステーキ」を提供、レストランあしや竹園で「神戸牛フィレ肉つくしコース」「神戸牛フィレステーキ」ヒレ20頭分を活用した各種イベントを実施

新会長に三枝氏選任 JCAが通常総会開く

日本チエンストア協会は5月20日、東京都内で令和4年度通常総会を開き、上程議案を原案どおり承認した。任期満了に伴う役員改選では、伊藤浩一力堂の三枝富博会長を選任。4年度は自由で活力のある事業環境の確保、環境政策・エネルギー政策への取り組み、人

中川 清一氏(なががわ・きよかず)がマルチヨウ神戸屋会長兼相談役、富山県食肉事業協同組合連合会理事相談役(前会長)、富山県食肉公正取引協議会会長、70歳) 5月21日逝去。通夜は5月25日午後7時、葬儀は26日午前11時から、いずれもオックスセレモニーホール(富山市岩瀬赤田町)で執り行われた。喪主は長男の中川一也氏。

後日「お別れの会」が執り行われる予定となっている。

中川清一氏が逝去

前富山県肉連会長など



「まず、おいしさ認知に注力する」と強調する植村会長

「まず、おいしさ認知に注力する」と強調する植村会長

「まず、おいしさ認知に注力する」と強調する植村会長